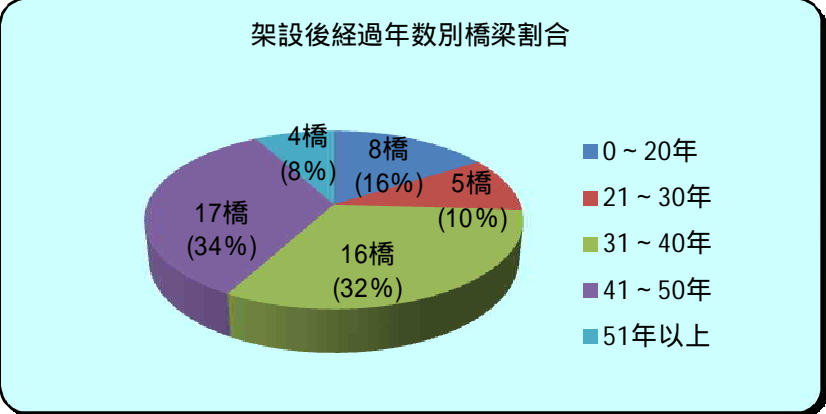
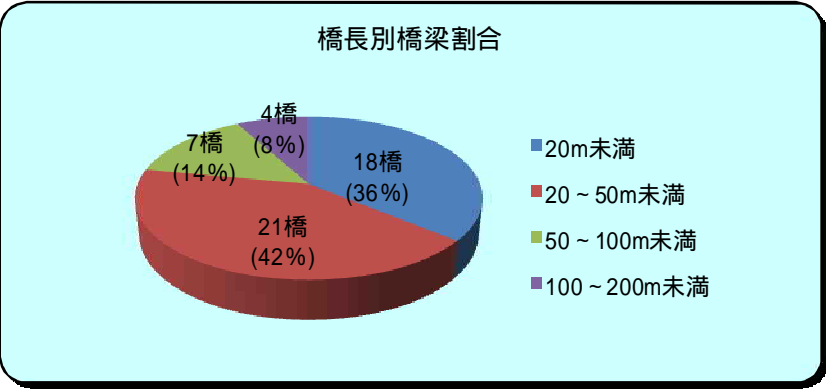
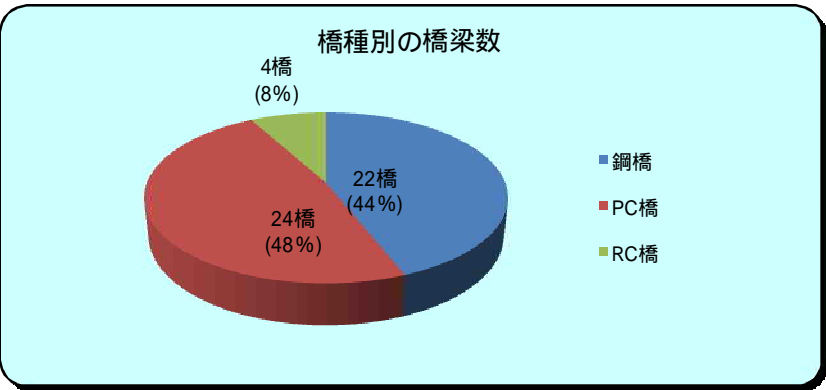


# 鳴門市橋梁点検(橋長15.0m以上)の点検結果概要

## 1. 点検した橋梁の概要

- ・点検した50橋のうち、鋼橋は22橋、コンクリート橋は28橋であり、コンクリート橋が56%を占める。
- ・橋長は20m未満が18橋であり、20m以上が32橋である。うち100mを超える長大橋は4橋あった。
- ・供用年は10年未満の新しい橋梁が8橋であり、40年以上経過している橋梁は21橋ある。
- ・橋種別の供用年では、鋼橋は30年以上の比率が大きい。



橋梁種別について

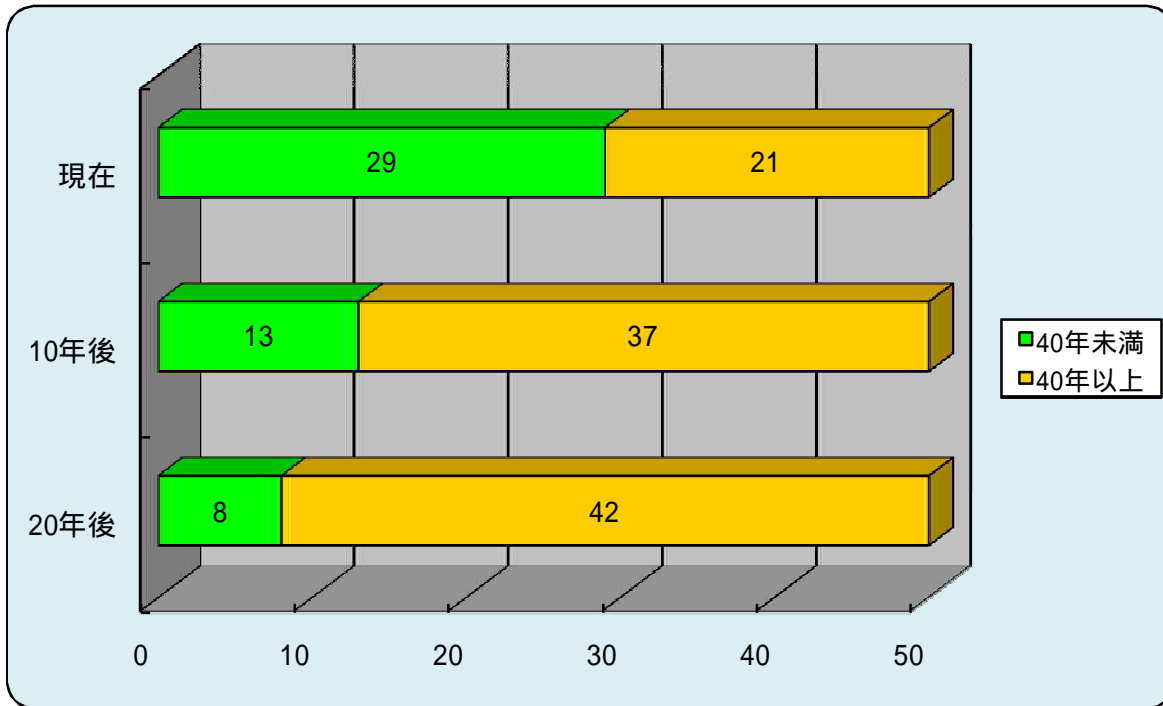
橋梁形式	鋼橋	PC橋	RC橋	合計
橋梁数	22	24	4	50

供用年数について

供用年数	鋼橋	PC橋	RC橋
0~20年	1	7	
21~30年	2	3	
31~40年	9	6	1
41~50年	8	8	1
51年以上	2		2

## 2. 供用40年以上の橋梁数の推移

- ・供用後40年以上の橋梁は、現在21橋であるが、10年後は37橋に、20年後は42橋と増加する。
- ・20年後には84%の橋梁が供用40年以上の高齢化となる



供用40年を超える橋梁数の推移

	現在	10年後	20年後
40年未満	29	13	8
40年以上	21	37	42

### 3. 損傷度の判定評価について

21年度に点検した橋梁50橋について、点検結果による損傷の種別及び損傷度の評価を行った。

- ・ 損傷があり、補修を要したり、補修の検討を要す橋梁が4橋ある。
- ・ 経過観察を行いながら、時期を見て補修するのが望ましい橋梁が6橋ある。
- ・ 上記10橋以外は損傷状況が軽微であるか、損傷は認められない。



鋼材の腐食



支承の腐食



床版の鉄筋露出



床版の鉄筋露出